

おおさか文化遺産めぐり その224

日本の近代史に足跡を残した自治都市
「町ぐるみ博物館」で町の魅力を再発見

JR平野駅南側のエリアは、かつて「平野郷」と呼ばれ、戦国時代には富と強固な防御施設を備えた自治都市を形成していた地域です。多数の寺社や古民家などが今も残り、市民運動から始まった「町ぐるみ博物館」で、地域の誇りを後世に伝えています。



地獄から極楽への体験ができる全興寺の地獄堂

堺からも目置かれた存在

平野は、平安時代に征夷大将軍・坂上田村麻呂の次男・広野麿の所領地となった場所です、その名は「広野」が変化したものと考えられています。ここに定住した広野麿の子孫たち「七名家」が開発を進め、その一つである末吉家を中心に、富裕な商人たちの経済力によって地域共同体がつけられていきました。

摂河泉（摂津・河内・和泉）の中継点で、交通の要衝だった平野は、南北朝から戦国時代にかけて、たびたび戦禍に巻き込まれました。そこで住民たちは、東西2・5km、南北2・7kmの町の周囲を濠と土居で囲み、自治都市を築きます。東側は平野川と合わせて二重の濠となり、13カ所の出入り口には大門を設けて地蔵を祀り、町を守りました。

同じ自治都市・堺からの書状には、頼もしい同士であることが示されています。

大和川の付け替えがきっかけ
木綿産業で栄える

1704（宝永元）年の大和川の付け替えによって、旧河川敷を含む中河内一帯が良質な綿の一大産地となり、平野郷は綿産業の町として発展していきます。田んぼの一部を盛り上げて綿を植える独特の手法は「米田にも半田」といわれ、川の付け替えからわずか2年後には、平野郷での綿栽培が全耕地面積の62%を占めるようになりました。

また綿加工の拠点としての役割も果たしました。周辺の村々から集めた実綿（種のついた綿）から種を取り除き、糸に加工して、全国各地へ販売するルートを広げました。町の繁栄に伴い、京都や堺の文化も平野郷に伝わるようになり、能楽や茶の湯が盛んになり、杭全神社には連歌所が設けられ、また日本初の民間の学問所「含翠堂」も設立されました。

町そのものが博物館
文化と伝統を次世代へ

1980年、南海平野線廃線に伴う駅舎保存運動をきっかけに「平野の町づくりを考える会」がつくられ、町の誇りを再認識する試み「平野町ぐるみ博物館」が始まりました。これは寺社、商店などを展示会場とし、町そのもの

を博物館としてとらえた活動です。聖徳太子が薬師寺如来像を祀られた野中のお堂から集落が形成され、平野発祥の地と伝わる全興寺には「駄菓子屋さん博物館」など3つ、ほかにも綿加工の道具を紹介した「平野郷 綿とくらし博物館」、「かたなの博物館」など、町中にミニ博物館が点在しています。



1 「含翠堂」の跡地 2 河内木綿の生産を今に伝える「平野郷 綿とくらし博物館」
3 杭全神社の裏手にある濠の跡 4 平野郷のだんじり文化を伝える「ちっこい
だんじり館」（全興寺）

大阪府ウォーキング協会主催		大阪シティ信用金庫協賛		今月のおすすめウォーキング		
9月 曜		行事名	距離	最寄り駅・集合場所	集合時間	解散場所
10日	木	加美駅～加美駅	9km	JR 加美駅 菅原神社	9:45	JR 加美駅
19日	土	寺田町から自由の女神を見て 今川緑道へ	9km	JR 寺田町駅 大道南公園	9:45	JR 長居駅
19日	土	八尾空港半周ウォーク	10km	JR 志紀駅 弓削公園	9:45	JR 久宝寺駅
25日	金	堺市・南宗寺の萩を鑑賞ウォーク	10km	JR 堺市駅 東雲公園	8:45	JR 三国ヶ丘駅
26日	土	大坂の陣の古戦場跡めぐり	8km/11km	JR 森ノ宮駅 森之宮公園	9:45	JR 大阪城公園駅

※参加費500円 事前申し込み不要です。会場へ直接お越しください

Data
(一般財団法人) 大阪市コミュニティ協会平野支部協議会
「まち歩きガイド 平野の風」
町案内をご希望の際は以下までお問い合わせください

〒547-0011 大阪市平野区長吉出戸
5-3-58 コミュニティプラザ平野（平野区民センター）内事務局
TEL:06-6704-1200
hirano-center@beach.ocn.ne.jp
【お問い合わせ時間】
平日 9:00～17:00

町ぐるみ博物館の詳細はこちらから▶